

平成28年度 第1学年 後期授業アンケート 分析表

国語総合 (現代文)	授業への取り組みも概ね良好で、進度・難易度とも適当との回答が多く、高校の授業に対応できている。今後は授業内容の理解に留まらず、自らより多くの文章に触れる機会をつくることで、ものの見方を広げ、考えや表現を深めることを志向するよう指導したい。
国語総合 (古典)	授業の分かりやすさ、興味関心、予習の取り組みに対する回答が前期よりもよい方向に移行している。学習習慣の定着や基本事項の習得に丁寧に取り組みせ、主体的な学習につなげたい。また、授業を通して、一つ一つのことばを大切に読んで読む姿勢を身につけさせたい。
現代社会	多くの生徒が授業に集中して取り組めており、授業の難易度もちょうど良いと回答している。グループ学習を取り入れることで、学習に対する意欲が高まっている。学習した内容を実生活とリンクさせた形で制度や用語を理解できるような授業展開が引き続き必要である。
数学 I	ほとんどの生徒が授業は分かりやすいと感じており、内容が難しい・進度が速いと感じる生徒が減少傾向であるので、数学に対する興味や意欲は高まっていると思われる。一方、予習・復習の習慣が疎かになりつつある生徒もおり、家庭学習を前提とした授業を行いたい。
数学 A	前期と比較して予習・復習がやや疎かになっており、予習・復習の習慣が定着していないため、授業が分かりやすいと感じる生徒が減少した。家庭学習の重要性を再確認し、予習を前提とした授業を行うなど授業改善を進めていきたい。
物理基礎	進度、難易度ともに多くの生徒が肯定的に回答している。しかし、理解・興味については生徒間の差が開いてきている。今後も内容を精選し、授業方法も改善を加えていき、生徒の考察力を育て、生徒が自ら学ぶ姿勢を育てるような授業を工夫していきたい。
生物基礎	前期と比較して、授業内容が理解できた、もっと科目の内容に触れてみたいと回答した生徒が増えた。継続して、生徒の興味関心を高め、生徒自ら学ぶ姿勢を育てるような授業を工夫していきたい。
保健体育	後期より選択制授業を導入し、グループ学習等を実施している。それにより、職員と協力して取り組み、学習意欲を高めている。技能・体力の向上を含めた基礎基本の習得、同時にルールの学習をしながら、2年生からのより主体的な学びへとつなげていきたい。
音楽 I	後期は、合唱表現の工夫やギターアンサンブルにグループ学習を取り入れることで、さらに積極的に取り組む生徒が増えてきた。これからも、内容や授業方法を工夫して、多くの生徒が主体的に学ぶことのできる授業にしたい。
美術 I	デザインでの調べ学習や展覧会鑑賞の授業などを実施して前期よりグループ学習の時間を増やした。個人制作では一人ひとりの活動になるので、もう少し巡回方法などを考え、個人の力を伸ばしていきたい。
書道 I	アンケートの時点では、アクティブ・ラーニングも不十分であったが、その後アクティブ・ラーニングでの協同制作も取り入れ、新しい教育内容を推進できた。生徒はより書道に関する興味関心が高まっている。一層生徒にとって満足感が得られる授業を心がけたい。
コミュニケーション英語 I	すべて英語で行う授業に対して、自主・自律的な学習者になる素養が養われつつある。ペアワーク・グループワークでの言語活動を通して受動的ではなく能動的に学習していく姿勢が身につけてきている。
英語表現 I	グループ学習や進度、わかりやすさなど、授業に関しては概ね好意的に捉えている。しかし、文法、語法などをいかにスピーチやエッセイで使用できるかという点で、やや不十分な点も見られる。積極的な英語使用を促し、実用的な表現能力を養っていきたい。
家庭基礎	前期と同様に多くの生徒が授業に集中して真摯に取り組んでいる様子が伺える。今後はまとめとして、グループ学習の時間を増やし、様々な問題解決に向けて的確な判断力が育成できるような授業を展開していきたい。
社会と情報	前期同様に生徒は集中して授業に取り組んでいる。授業を通じてさらに高いレベルでの学びを目指す生徒も増えてきている。引き続き興味関心を持てるような授業、自ら学ぶ姿勢が持てるような授業の展開を心掛けていきたい。